



第一礼拝次第

メッセージ: 郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		会衆	
プレイズ	「さあ賛美しよう」 「誰もみたことのないことが」	会衆	
聖書朗読	フィリピ2:1~11	司会	
祈禱	(新約聖書 p362)	司会	
証	渡慶次賀正執事		
賛美	聖歌480	会衆	
メッセージ	「キリストの謙遜」	牧師	
祈禱		牧師	
賛美	第二讚美歌164	会衆	
献金			
報告		司会	
頌栄	新生672b	会衆	
祝禱		牧師	



第二礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師

メッセージ: 「大宴会のたとえ」
 聖書: ルカ 14: 15~24(新約聖書 p.137)
 プレイズ: 「栄光から栄光へと」
 「主はわれらの太陽」
 賛美: 新生447 新生521



ファミリー礼拝

聖書: Iサムエル 3: 1~14
 メッセージ: 「預言者サムエル」

<巻頭言>

「どこにもおられる神様」 牧師 郭永東
 先週、香港に行ってきました。香港で、多くのキリスト教徒に出会いました。私がよく知らない場所でも、神様を礼拝する人々がいました。国や人種、場所に関係なく、神様は神を愛する者たちを召しておられるのだと実感しました。

「井の中の蛙、大海を知らず」という言葉があります。私たち人間が見たり聞いたり、理解できることは、どれほどのものなのでしょうか？

天文学者によると、人類は宇宙のわずか4%しか知らないと言います。また、人間の耳は20Hz から2万Hzまでの音しか聞くことができません。つまり、限られた範囲の音しか聞こえず、これを可聴範囲と呼びます。さらに、人間の視野角は220度と広いものの、色を鮮明に識別できるのは60度以内です。それを超えると、色の区別ができず、白黒でしか認識できません。人間が見ることのできる光も限られており、それを可視光線と呼びます。つまり、私たちは多くのものを見ることも、聞くことも、感じることもできないように創られたのです。だからこそ、人間が見たり聞いたり感じたりすることは、決して絶対的なものではありません。認識の面では、まさに「井の中の蛙」なのかもしれません。

しかし、神様は私たちの見えないところでも働いておられます。そして、神様の声があまりに小さいのではなく、むしろあまりに大きすぎて、私たちには聞こえないのかもしれませんが、それでも、神様は確かに私たちに語りかけておられます。私が知らなくても、世界の多くの場所で神様を礼拝する神の子供たちがいるのです。